



平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年4月24日

上場会社名 株式会社シマノ 上場取引所 東
 コード番号 7309 URL http://www.shimano.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 容三
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 廣瀬 充康 (TEL) 072-223-3254
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	85,236	6.7	16,928	10.9	15,454	16.3	10,793	13.2
29年12月期第1四半期	79,921	△2.7	15,261	△5.1	13,289	26.9	9,537	50.1

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 1,083百万円(△79.5%) 29年12月期第1四半期 5,289百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	116.43	—
29年12月期第1四半期	102.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	477,074	424,361	88.9
29年12月期	488,770	430,465	88.0

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 424,217百万円 29年12月期 430,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	77.50	—	77.50	155.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	77.50	—	77.50	155.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	173,300	6.3	33,000	7.0	31,500	16.9	22,100	18.0	238.40
通期	350,000	4.2	67,000	4.1	65,500	17.5	46,000	19.7	496.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年12月期1Q	92,720,000株	29年12月期	92,720,000株
30年12月期1Q	17,454株	29年12月期	17,276株
30年12月期1Q	92,702,546株	29年12月期1Q	92,703,062株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実績の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におきましては、欧州では、個人消費が一時的に弱含んだものの、企業の生産・輸出が増加したことや雇用環境の改善が続いたこともあり、景気は緩やかながらも拡大基調を迎えました。米国では、良好な雇用環境のもと消費者マインドは力強く、また企業業績は製造業を中心に堅調さを増しました。日本では、堅調な雇用・所得情勢を背景とした個人消費を中心に、景気全体でも緩やかな回復傾向がみられました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしてみたいです。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は85,236百万円(前年同期比6.7%増)、営業利益は16,928百万円(前年同期比10.9%増)、経常利益は15,454百万円(前年同期比16.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,793百万円(前年同期比13.2%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自転車部品

欧州市場では、完成車の店頭販売はE-BIKE(電動アシストバイク)を中心に前年下半期からの順調な状況が継続し、市場在庫は適正なレベルを維持しました。

北米市場では、年初の完成車の店頭販売は軟調でしたが市場在庫については適正に推移しました。

中国市場では、完成車の店頭販売は改善の兆しがみえず、中低価格帯を中心に低調な販売が続きました。一方で市場在庫は適正なレベルを維持しました。

他の新興国市場では、東南アジア市場では完成車の店頭販売に回復傾向はみられたものの依然として力強さを欠きました。一方、南米市場ではブラジル・アルゼンチンを中心に前年後半からの好調を維持しました。ともに市場在庫は適正水準を保ちました。

日本市場では、大雪などの天候不順の影響もあり、スポーツタイプ自転車及び軽快車ともに完成車の店頭販売は振るわず、市場在庫は適正範囲ではあるものの、やや高めで推移しました。

このような市況のもと、電動アシストマウンテンバイク用ドライブユニット「SHIMANO STEPS」E8000シリーズ、ロードバイクコンポーネント「ULTEGRA」の電動変速DI2バージョン及びディスクブレーキを搭載した追加モデルは、前年に引き続き好評をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は68,000百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は14,757百万円(前年同期比5.5%増)となりました。

② 釣具

日本市場では、小売店の初売りは好調であったものの、以降の販売は寒波・大雪の影響から低調に推移しました。

海外市場において、欧州市場では、寒波等の影響で販売が停滞し、主要市場であるドイツ・イギリスで流通在庫が増加しました。北米市場では、足許堅調な景気に支えられ販売は好調に推移しました。アジア市場では、台湾市場での停滞はあったものの、中国・韓国・東南アジア各国市場ではスポーツフィッシングが牽引し、販売は引き続き好調に推移しました。豪州市場では、3月のサイクロンの影響もあり、販売は停滞しました。

このような市況のもと、日本では、「STELLA」や「Bantam」をはじめとした新製品に対し高い評価をいただき、売上は前年を上回りました。海外では、豪州市場ではサイクロンの影響が大きかったことから売上は前年を下回りましたが、欧州、北米及びアジア市場での売上が前年を上回ったことから、海外全体の売上は前年を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は17,151百万円(前年同期比13.2%増)、営業利益は2,209百万円(前年同期比65.8%増)となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は85百万円(前年同期比9.1%減)、営業損失は38百万円(前年同期は営業損失63百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は477,074百万円(前連結会計年度比11,695百万円の減少)となりました。これは、その他流動資産が1,480百万円、商品及び製品が916百万円それぞれ増加し、現金及び預金が9,877百万円、建設仮勘定が1,349百万円、機械装置及び運搬具が1,082百万円、投資有価証券が1,013百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は52,713百万円(前連結会計年度比5,591百万円の減少)となりました。これは、未払法人税等が2,734百万円、流動負債のその他が2,574百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は424,361百万円(前連結会計年度比6,104百万円の減少)となりました。これは、利益剰余金が3,608百万円増加し、為替換算調整勘定が9,131百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間においてアジア通貨に対するドル安の影響から営業外費用が発生したため、第2四半期(累計)及び通期の経常利益、親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益の予想について、次のとおり変更いたします。

平成30年12月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の変更(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	173,300	33,000	33,000	23,300	251.34
今回修正予想(B)	173,300	33,000	31,500	22,100	238.40
増減額(B-A)	—	—	△1,500	△1,200	
増減率(%)	—	—	△4.5	△5.2	
前年第2四半期(累計)実績 (平成29年12月期 第2四半期)	163,079	30,832	26,937	18,728	202.03

平成30年12月期 通期連結業績予想数値の変更(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	350,000	67,000	67,000	47,200	509.15
今回修正予想(B)	350,000	67,000	65,500	46,000	496.21
増減額(B-A)	—	—	△1,500	△1,200	
増減率(%)	—	—	△2.2	△2.5	
前期実績 (平成29年12月期)	335,800	64,351	55,748	38,443	414.69

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	241,268	231,390
受取手形及び売掛金	35,574	36,142
商品及び製品	33,820	34,737
仕掛品	19,131	19,172
原材料及び貯蔵品	4,650	4,725
繰延税金資産	3,080	2,781
その他	5,640	7,121
貸倒引当金	△370	△330
流動資産合計	342,795	335,741
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	60,229	60,204
機械装置及び運搬具(純額)	24,564	23,481
土地	13,890	13,737
リース資産(純額)	62	55
建設仮勘定	4,823	3,474
その他(純額)	6,240	5,811
有形固定資産合計	109,810	106,765
無形固定資産		
のれん	5,388	5,084
ソフトウェア	6,668	6,889
その他	3,968	3,518
無形固定資産合計	16,025	15,492
投資その他の資産		
投資有価証券	15,029	14,016
繰延税金資産	2,603	2,760
その他	3,009	2,848
貸倒引当金	△504	△550
投資その他の資産合計	20,138	19,074
固定資産合計	145,974	141,332
資産合計	488,770	477,074

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,036	13,425
短期借入金	7,571	7,441
未払法人税等	8,696	5,962
繰延税金負債	46	33
賞与引当金	1,976	2,062
役員賞与引当金	181	50
その他	17,818	15,244
流動負債合計	49,327	44,219
固定負債		
長期借入金	1,009	826
繰延税金負債	646	627
退職給付に係る負債	4,060	3,855
その他	3,260	3,184
固定負債合計	8,976	8,493
負債合計	58,304	52,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,642	5,642
利益剰余金	371,914	375,523
自己株式	△102	△105
株主資本合計	413,066	416,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,374	3,803
為替換算調整勘定	12,872	3,741
その他の包括利益累計額合計	17,246	7,545
非支配株主持分	152	143
純資産合計	430,465	424,361
負債純資産合計	488,770	477,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	79,921	85,236
売上原価	46,677	50,632
売上総利益	33,244	34,603
販売費及び一般管理費	17,982	17,675
営業利益	15,261	16,928
営業外収益		
受取利息	405	764
受取配当金	52	75
その他	92	360
営業外収益合計	549	1,200
営業外費用		
支払利息	41	52
為替差損	2,385	2,065
その他	94	556
営業外費用合計	2,522	2,674
経常利益	13,289	15,454
特別損失		
工場建替関連費用	25	26
火災損失	—	106
特別損失合計	25	132
税金等調整前四半期純利益	13,264	15,321
法人税、住民税及び事業税	5,698	4,160
法人税等調整額	△2,000	365
法人税等合計	3,697	4,526
四半期純利益	9,566	10,795
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,537	10,793

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	9,566	10,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	△570
為替換算調整勘定	△4,222	△9,142
その他の包括利益合計	△4,276	△9,712
四半期包括利益	5,289	1,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,288	1,091
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社のShimano Europe Holding B.V.を存続会社として、連結子会社のShimano Europe B.V.、Shimano Europe Fishing Holding B.V.及びBikefitting.com B.V.を合併したため、Shimano Europe B.V.、Shimano Europe Fishing Holding B.V.及びBikefitting.com B.V.を連結の範囲から除外しております。なお、Shimano Europe Holding B.V.はShimano Europe B.V.に社名を変更しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	64,674	15,153	93	79,921	—	79,921
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	64,674	15,153	93	79,921	—	79,921
セグメント利益又は損失(△)	13,992	1,332	△63	15,261	—	15,261

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	68,000	17,151	85	85,236	—	85,236
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	68,000	17,151	85	85,236	—	85,236
セグメント利益又は損失(△)	14,757	2,209	△38	16,928	—	16,928

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。